



なばり

2013年(平成25年) 2月10日発行

主な内容

- 2……排水設備の市指定工事店一覧
- 3……「広報なばり」などへの広告募集、自殺予防啓発講演会
- 4……3月の相談、子ども伝統芸能まつり、健康エブリデー

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎0595-63-7402 ✉pr@city.nabari.mie.jp 🌐http://www.city.nabari.lg.jp

市民の皆さんの
意見を反映する

パブリックコメント

条例や市の重要な計画などを
素案の段階で市民に公表し
それに対する意見を
考慮して意思決定を
行う制度です

素案に対する皆さんのご意見をください

ごみゼロ社会を目指す **素案** アクションプログラム (第四次)

意見募集期間 2月11日(祝)～3月8日(金)

平成12年度から「ごみゼロ・リサイクル社会を目指すアクションプログラム(第一次アクションプログラム)」に沿って、市民の皆さんとごみの減量化・資源化を進めてきました。また「第二次、第三次のアクションプログラム」で家庭ごみの有料化や容器包装プラスチックの資源回収、生ご

みの資源化の試行、草木類の資源化などに取り組んできました。

これまでのごみの減量実績や取組みの評価と検証を行い、平成25年度から27年度の3カ年の取組みの方針を示します。この素案に対するご意見を募集します。

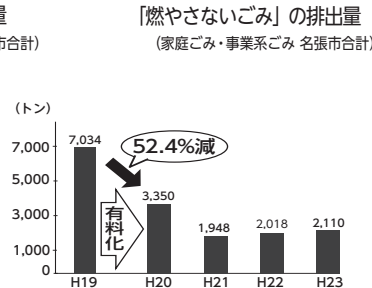
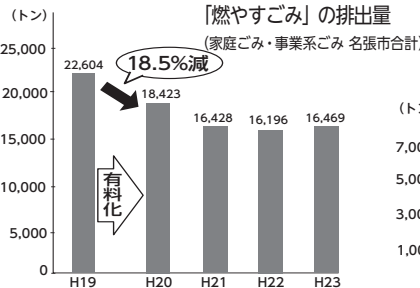
☎環境対策室 ☎63-7496



有料化後はごみ収集車約3,000台分を減量。リバウンドは見られません。

市民の皆さんのご協力による有料化や容器包装プラスチックの分別、また事業系ごみ処理手数料も近隣自治体に沿った改定を行った結果、「燃やすごみ」、「燃やさないごみ」の量は、それぞれ大幅に減量されました。

有料化前の平成19年度と実施後の平成20年度を比較すると「燃やすごみ」が18.5%、「燃やさないごみ」が52.4%とそれぞれ削減され、合計削減量は約7,500トン/年間になりました。これは、ごみ収集車約3,000台分に相当します。その後も減量効果は続いています。



今後の主な取組み方針 指定ごみ袋単価の引き下げも

今後も引き続き、3R※(発生抑制・再使用・再利用)を基本として、ごみの減量化、資源化を図っていきます。

◆発生抑制、減量化の取組み

① 家庭ごみの有料化
ごみ減量意識が定着しているため、**指定ごみ袋の価格を見直し、引き下げを行います。**



② ごみ処理手数料
(事業者などによる施設への持込み分)
近隣自治体も大きな改定がなく、減量効果の維持が期待できるため、ごみ処理手数料(10kgごと120円)は、現行どおりとします。

◆分別収集、資源化の取組み

- ① 生ごみ分別 2回の試行事業により、多くの課題が明らかになり、市全域で実施するには多額の経費が必要で、すぐには実施できないため、個々の取組みを促進
- ② 容器包装プラスチック分別 分別収集を継続。正しい分別方法を啓発
- ③ 草木類の資源化 堆肥化などを促進。せん定枝粉碎処理(チップパー)車などによる有効活用

◆適正排出への取組み

- ① 不法投棄、不適正排出対策 環境レンジャーによるパトロール継続、市民の皆さんによる監視協力
- ② ごみ出し支援 高齢者のみ世帯などへの日常生活支援を兼ねたごみ出し支援を実施

ご意見をお寄せください

ごみゼロ社会を目指すアクションプログラム(素案)は、市ホームページ、または、環境対策室、公民館・市民センター、市役所1階案内、2階広報対話室でご覧いただけます。

《ご意見の提出方法》

2月11日(祝)から3月8日(金)までに、「アクションプログラム(素案)」と記入し、素案に対する意見、氏名、住所、電話番号を書いて次のいずれかの方法で送付してください。

- ◇電子メール kankyo@city.nabari.mie.jp
 - ◇ファクス 64-2560 ◇郵便 ◇直接持参
- 《提出先》 環境対策室(〒518-0492 鴻之台1-1) ※広報対話室でも受け付けます。

※3Rとは・・・①Reduce(リデュース):ごみの発生抑制、②Reuse(リユース):再使用、③Recycle(リサイクル):ごみの再利用
それぞれの頭文字をとったごみ減量化の取組みのこと。取組み優先度は①>②>③